

第14回



お気軽にお立ち寄りください

商船模型同好会作品展

会期 令和2年3月17日(火)~4月26日(日)

会場 日本郵船氷川丸(旧三等食堂)

時間 10時~17時(最終入館 16時半)

商船模型同好会について

発足と設立の目的

平成 15 年の秋、初代会長故富岡幸雄などを発起人として同好会の設立準備が進められ、主として関東圏の商船模型製作者、船舶研究家に参集の呼びかけが行われました。そして、平成 16 年 2 月 7 日に東京で会員数 22 名で発足。会則、活動方針、役員などを決めました。設立の目的は、趣味の模型製作を通して海事知識を深め、製作技術の向上に努めると共に会員相互の交流・親睦を図ること、またそれらを通じて社会に貢献することです。本会会員の模型は縮尺、使用材料、製作方法、船種などはさまざまで、その殆どはプラモデルなどではなく、フルスクラッチ(完全手作り模型)です。また、会員には模型は製作しないが船舶模型に興味を持つ人や軍艦・帆船模型作りに取り組んでいる人もいます。そして次のような活動を行っています。

活動の概要

① 作品展の開催

平成 17 年 8 月に船の科学館で本会発足記念の作品展として第 1 回を開催しました。それ以降は、ほぼ年に 1 回定期的に作品展を開催しており、平成30年度からは横浜の日本郵船氷川丸で開催しています。

② 外部行事への参加・協力

平成 19 年には日本郵船歴史博物館の企画展「紙で作ったモデルシップ」に作品展示・製作実演会を実施、平成 20 年には東京みなと館東京港コンテナ船就航40周年記念に会員の模型を展示、平成 25 年度からは東京みなと祭りでの作品展示など、外部行事への参加・協力を行っています。

③ 例会

年に 3 回程度開催しています。例会では本会の運営や行事の打ち合わせを行うほか、講師を招いての勉強会、製作手法の披露、近作模型の披露、船関係の情報交換や会員間の親睦などの場としています。

④ 会報の発行

会報は活動状況の取りまとめや情報発信の場と位置付け、年に 2 回発行しています。会報は作品展の開催とともに本会活動の中心的なものです。また試験的に英語版も作成し海外の有志に送付しております。

⑤ 模型製作に関する研究と資料の収集・配布

会員などから提供された船舶に関する資料を事務局で保管・リスト化し、模型製作の資料としています。それを希望する会員に提供しています。

役員と会員

顧問	間野正己(神奈川県、縮尺 1/50、1/100 など大型紙製模型製作)
会長兼作品展実行委員長	岡昇(神奈川県、縮尺主に 1/200 の模型製作)
事務局	板倉正明(神奈川県、縮尺 1/200 の紙製模型製作)
会員数	32 名

以上